

第7回全国家庭動向調査（2022年調査）結果の概要（正誤情報）

■正誤情報

令和6年3月8日（金）

全国家庭動向調査に関する調査の結果は、利用者の利便性の観点から、国立社会保障・人口問題研究所ホームページに掲載し、ダウンロードすることが可能となっております。

令和4（2022）年7月に実施した「第7回全国家庭動向調査」については、「結果の概要」を令和5（2023）年8月22日に公表したところですが、下記のとおり誤りがありましたので、訂正いたしております。

利用者の皆様にはご不便をおかけし、大変申し訳ございません。

1. 本文の記述に関わるもの

○結果の概要 要旨（プレスリリース）

正

介護の必要な親（夫の親を含む）がいる妻の割合は **24.1%** となり、50 歳代では **42.5%** となった（p.58、表 7-2）。

誤

介護の必要な親（夫の親を含む）がいる妻の割合は 24.0% となり、50 歳代では 42.2% となった（p.58、表 7-2）。

○結果の概要 p.42

正

なお、ここでの集計対象は、「車や耐久消費財など高価なものの購入」、「家計の分配や管理・運営」、および「親や親族とのつきあい」に関する集計はこれら 3 項目のすべてに回答した 4,314 名分とし、「育児や子どもの教育」に関する集計は、回答者を子どものいる者に限定した上で、この項目を含めた 4 項目すべてに回答した **3,907** 名分とした。

図 5-3 は、項目ごとに夫婦の裁量権をまとめたものである。2022 年調査においては、妻が意思決定をする割合（「妻」の割合）が大きいほうから「家計の分配や管理・運営」（62.3%）、「育児や子どもの教育」（**58.0%**）で、これらは半数以上の夫婦で妻が意思決定の中心となっている。

誤

なお、ここでの集計対象は、「車や耐久消費財など高価なものの購入」、「家計の分配や管理・運営」、および「親や親族とのつきあい」に関する集計はこれら 3 項目のすべてに回答した 4,314 名分とし、「育児や子どもの教育」に関する集計は、回答者を子どものいる者に限定した上で、この項目を含めた 4 項目すべてに回答した 3,905 名分とした。

図 5-3 は、項目ごとに夫婦の裁量権をまとめたものである。2022 年調査においては、妻が意思決定をする割合（「妻」の割合）が大きいほうから「家計の分配や管理・運営」（62.3%）、「育児や子どもの教育」（58.1%）で、これらは半数以上の夫婦で妻が意思決定の中心となっている。

○結果の概要 p.47

正

「夫の父親と同居」の割合は 16.6% (2008 年)、22.6% (2013 年)、10.8% (2018 年)、7.7% (2022 年)、「夫の母親と同居」の割合は 20.7% (2008 年)、26.0% (2013 年)、13.5% (2018 年)、10.6% (2022 年) となっており、2013 年調査以降は夫方の親との同居割合が低下傾向にある。一方、妻方の親との同居割合に大きな低下傾向はみられず、「妻の父親と同居」の割合は 5.6% (2008 年)、7.7% (2013 年)、3.8% (2018 年)、4.2% (2022 年)、「妻の母親と同居」の割合は 7.8% (2008 年)、8.6% (2013 年)、5.9% (2018 年)、5.3% (2022 年) となっている。上記の結果、妻方の親との同居割合と夫方の親との同居割合の差は縮小傾向にある。

2018 年調査では「夫の父親と同居」の割合 (10.8%) は「妻の父親と同居」の割合 (3.8%) よりも 7.0 ポイント高かったが、2022 年調査では 3.5 ポイント差となっている (それぞれ 7.7%、4.2%)。同様に、2018 年調査では「夫の母親と同居」の割合 (13.5%) は「妻の母親と同居」の割合 (5.9%) よりも 7.6 ポイント高かったが、2022 年調査では 5.3 ポイント差となっている (それぞれ 10.6%、5.3%)。

誤

「夫の父親と同居」の割合は 16.6% (2008 年)、22.6% (2013 年)、10.8% (2018 年)、7.8% (2022 年)、「夫の母親と同居」の割合は 20.7% (2008 年)、26.0% (2013 年)、13.5% (2018 年)、10.7% (2022 年) となっており、2013 年調査以降は夫方の親との同居割合が低下傾向にある。一方、妻方の親との同居割合に大きな低下傾向はみられず、「妻の父親と同居」の割合は 5.6% (2008 年)、7.7% (2013 年)、3.8% (2018 年)、4.1% (2022 年)、「妻の母親と同居」の割合は 7.8% (2008 年)、8.6% (2013 年)、5.9% (2018 年)、5.3% (2022 年) となっている。上記の結果、妻方の親との同居割合と夫方の親との同居割合の差は縮小傾向にある。

2018 年調査では「夫の父親と同居」の割合 (10.8%) は「妻の父親と同居」の割合 (3.8%) よりも 7.0 ポイント高かったが、2022 年調査では 3.7 ポイント差となっている (それぞれ 7.8%、4.1%)。同様に、2018 年調査では「夫の母親と同居」の割合 (13.5%) は「妻の母親と同居」の割合 (5.9%) よりも 7.6 ポイント高かったが、2022 年調査では 5.4 ポイント差となっている (それぞれ 10.7%、5.3%)。

○結果の概要 p.55

正

これをみると、2022 年では、「妻の父親」に介護が必要なケースは 6.8%、「妻の母親」では 13.7%、「夫の父親」では 4.8%、「夫の母親」では 11.2%であった。

誤

これをみると、2022 年では、「妻の父親」に介護が必要なケースは 6.8%、「妻の母親」では 13.7%、「夫の父親」では 4.8%、「夫の母親」では 11.1%であった。

○結果の概要 p.57

正

まず年齢合計では、自身の親と夫の親のいずれかに介護の必要な親のいるケースは 24.1%で、妻のおよそ 4人に 1人に介護の必要な親がいるといえる。介護の必要な親の人数別にみると、介護の必要な親が「1人」という妻は 16.5%だが、「2人」が 5.6%、「3人」が 1.4%、「4人」が 0.5%と、これらをあわせると約 8%の妻には介護の必要な親が複数いるという状況である。

この介護の必要な親のいる割合を妻の年齢別にみると、「29 歳以下」では 6.7%、「30～39 歳」では 11.5%、「40～49 歳」では 25.6%、「50～59 歳」では 42.5%、「60～69 歳」では 33.4%、そして「70 歳以上」では 5.0%となっている。50 歳代の妻では約 4 割、妻自身も高齢期に入っていく 60 歳代でも 3 分の 1 が介護の必要な親をもっており、70 歳代でも介護の必要な親をもっている妻は少なくない。さらに、介護の必要な親の数は、どの年齢層でも多くの場合は「1人」であるが、50～59 歳では介護の必要な親がいる妻(42.5%)のうち 16.3%（「2人」が 12.0%、「3人」が 3.6%、「4人」が 0.7%）は介護の必要な親を 2人以上もっており、介護の必要な親をもつ妻のおよそ 3 分の 1 は介護の必要な親を複数もっていることになる。

表 7-2 には、参考に、妻（有配偶女性）以外の、離死別女性、単身未婚女性、単身男性についても同様の割合を示した。介護の必要な親のいる割合は、それぞれ、13.2%、9.9%、12.6%で、ひとり暮らし（単身未婚女性、単身男性）をしている人でも、1 割程度は、（別に暮らしている）親に介護が必要であることが分かる。

誤

まず年齢合計では、自身の親と夫の親のいずれかに介護の必要な親のいるケースは 24.0%で、妻のおよそ 4人に 1人に介護の必要な親がいるといえる。介護の必要な親の人数別にみると、介護の必要な親が「1人」という妻は 16.4%だが、「2人」が 5.6%、「3人」が 1.4%、「4人」が 0.5%と、これらをあわせると約 8%の妻には介護の必要な親が複数いるという状

況である。

この介護の必要な親のいる割合を妻の年齢別にみると、「29 歳以下」では 6.7%、「30～39 歳」では 11.4%、「40～49 歳」では 25.6%、「50～59 歳」では 42.2%、「60～69 歳」では 33.4%、そして「70 歳以上」では 4.9%となっている。50 歳代の妻では約 4 割、妻自身も高齢期に入っていく 60 歳代でも 3 分の 1 が介護の必要な親をもっており、70 歳代でも介護の必要な親をもっている妻は少なくない。さらに、介護の必要な親の数は、どの年齢層でも多くの場合は「1人」であるが、50～59 歳では介護の必要な親がいる妻(42.2%)のうち 16.3%（「2人」が 12.0%、「3人」が 3.6%、「4人」が 0.7%）は介護の必要な親を 2人以上もっており、介護の必要な親をもつ妻のおよそ 3 分の 1 は介護の必要な親を複数もっていることになる。

表 7-2 には、参考に、妻（有配偶女性）以外の、離死別女性、単身未婚女性、単身男性についても同様の割合を示した。介護の必要な親のいる割合は、それぞれ、13.1%、9.9%、10.1%で、ひとり暮らし（単身未婚女性、単身男性）をしている人でも、1 割程度は、（別に暮らしている）親に介護が必要であることが分かる。

○結果の概要 p.59

正

まず、妻の父親をおもに介護しているのは、「妻の母親」（介護を受けている父親からみた妻）が **33.2%** で、約 3 分の 1 を占めている。続いて、「妻」（介護を受けている父親からみた娘）が **21.4%**、「妻のきょうだい」（介護を受けている父親からみた子（性別不問））が **15.4%** と、両者をあわせると回答者である妻を含めた（介護を受けている父親の）子も 3 割以上を占めている。これに対して、妻の母親においては、もっとも多いのは **31.2%** を占める「妻のきょうだい」（介護を受けている母親からみた子（性別不問））で、次いで「妻」（介護を受けている母親からみた娘）が **27.6%** と、6 割近くが回答者である妻を含めた（介護を受けている母親の）子である。介護を受けている母親の配偶者である「妻の父親」がおもな介護者となっている割合は **6.6%** で、妻の父親の介護者とは様相が異なる。

夫の親についても同様に、夫の父親のおもな介護者は、「夫の母親」（介護を受けている父親からみた妻）が **33.2%** ともっとも多く、次いで「夫のきょうだい」が **19.5%**、「夫」が **12.7%** で、夫を含む、介護を受けている父親からみた子がおもに介護している割合は **32.2%** である。また、夫の母親のおもな介護者は、夫を含め介護を受けている母親からみた子が **38.8%**（「夫」 **16.3%**、「夫のきょうだい」 **22.5%**）で、介護を受けている母親の配偶者である「夫の父親」の割合は **6.0%** である。こうした数字からは、父親の介護の中心は母親、母親の介護の中心は子、という傾向がうかがえる。上述のような家族介護者のほかに、「入所・入院中」の割合も、妻の父親では **17.5%**、妻の母親では **23.2%**、夫の父親では **18.0%**、夫の母親では **32.8%** であり、父親よりも母親で高い値を示している。

誤

まず、妻の父親をおもに介護しているのは、「妻の母親」（介護を受けている父親からみた妻）が **33.3%** で、約 3 分の 1 を占めている。続いて、「妻」（介護を受けている父親からみた娘）が **20.9%**、「妻のきょうだい」（介護を受けている父親からみた子（性別不問））が **15.6%** と、両者をあわせると回答者である妻を含めた（介護を受けている父親の）子も 3 割以上を占めている。これに対して、妻の母親においては、もっとも多いのは **30.8%** を占める「妻のきょうだい」（介護を受けている母親からみた子（性別不問））で、次いで「妻」（介護を受けている母親からみた娘）が **27.1%** と、6 割近くが回答者である妻を含めた（介護を受けている母親の）子である。介護を受けている母親の配偶者である「妻の父親」がおもな介護者となっている割合は **6.5%** で、妻の父親の介護者とは様相が異なる。

夫の親についても同様に、夫の父親のおもな介護者は、「夫の母親」（介護を受けている父親からみた妻）が **32.2%** ともっとも多く、次いで「夫のきょうだい」が **19.9%**、「夫」が **12.8%** で、夫を含む、介護を受けている父親からみた子がおもに介護している割合は **32.7%** である。また、夫の母親のおもな介護者は、夫を含め介護を受けている母親からみた子が **39.0%**（「夫」 **16.0%**、「夫のきょうだい」 **23.0%**）で、介護を受けている母親の配偶者であ

る「夫の父親」の割合は5.9%である。こうした数字からは、父親の介護の中心は母親、母親の介護の中心は子、という傾向がうかがえる。上述のような家族介護者のほかに、「入所・入院中」の割合も、妻の父親では17.4%、妻の母親では24.0%、夫の父親では19.4%、夫の母親では33.7%であり、父親よりも母親で高い値を示している。

○結果の概要 p.61

正

表7-4によると、妻のうち、「現在介護している」と回答した者は9.7%、介護を「以前していた」と回答した者が25.8%で、あわせると35.5%となり、妻の3割以上には家族の介護経験がある。この割合を年齢別にみると、介護経験のある者の割合がもっとも高いのは60～69歳で54.1%、次いで70歳以上でも50.2%と、60歳以上の妻の半数以上に介護経験がある。介護経験の内訳をみると、「現在介護している」者の割合ではやはり「60～69歳」がもっとも高いが(15.3%)、「50～59歳」も13.9%とそれに次ぐ高い値を示している。また、「70歳以上」でも8.5%が「現在介護している」と回答している。一方、「以前していた」者の割合は年齢が高いほど高く、「70歳以上」では41.7%と4割を超える。

この割合については、妻に加えて、離死別女性、単身未婚女性、単身男性についても集計し、参考として掲載した。離死別女性は「現在介護している」者の割合が6.6%、「以前していた」者の割合が40.4%で、介護経験のある者の割合は47.0%と半数近くに達する。

誤

表7-4によると、妻のうち、「現在介護している」と回答した者は9.9%、介護を「以前していた」と回答した者が25.5%で、あわせると35.4%となり、妻の3割以上には家族の介護経験がある。この割合を年齢別にみると、介護経験のある者の割合がもっとも高いのは60～69歳で54.1%、次いで70歳以上でも50.2%と、60歳以上の妻の半数以上に介護経験がある。介護経験の内訳をみると、「現在介護している」者の割合ではやはり「60～69歳」がもっとも高いが(15.5%)、「50～59歳」も14.4%とそれに次ぐ高い値を示している。また、「70歳以上」でも8.9%が「現在介護している」と回答している。一方、「以前していた」者の割合は年齢が高いほど高く、「70歳以上」では41.3%と4割を超える。

この割合については、妻に加えて、離死別女性、単身未婚女性、単身男性についても集計し、参考として掲載した。離死別女性は「現在介護している」者の割合が7.1%、「以前していた」者の割合が39.9%で、介護経験のある者の割合は47.0%と半数近くに達する。

○結果の概要 p.63

正

これをみると、現在家族の介護を行っている者のうち「中心となって介護している」者の割合は、「50～59 歳」で **54.1%**、「60～69 歳」で **69.3%**、「70 歳以上」で **91.8%**となり、妻の家族介護へのかかわりは、50 歳以上では手伝いというよりも中心的役割を果たすことがより多いといえる。

誤

これをみると、現在家族の介護を行っている者のうち「中心となって介護している」者の割合は、「50～59 歳」で 55.0%、「60～69 歳」で 69.7%、「70 歳以上」で 92.2%となり、妻の家族介護へのかかわりは、50 歳以上では手伝いというよりも中心的役割を果たすことがより多いといえる。

○結果の概要 p.64

正

介護している家族を「夫」、「親」（「妻の父親」「妻の母親」「夫の父親」「夫の母親」）、「その他」の 3 つに分類すると、「親」が全体の **72.9%**を占めている。「親」の内訳をみると、「妻の母親」が **33.9%**、「夫の母親」が **21.2%**であるのに対して、「妻の父親」は **12.5%**、「夫の父親」は **5.3%**であり、双方の母親の占める割合がより大きい。この結果は、表 7-3 で確認された、親からみた介護者の状況とも重なる。また、妻がもっとも介護しているのが「夫」である割合も **19.0%**と 2 割近くを占めている。

誤

介護している家族を「夫」、「親」（「妻の父親」「妻の母親」「夫の父親」「夫の母親」）、「その他」の 3 つに分類すると、「親」が全体の 72.5%を占めている。「親」の内訳をみると、「妻の母親」が 33.0%、「夫の母親」が 22.2%であるのに対して、「妻の父親」は 11.9%、「夫の父親」は 5.4%であり、双方の母親の占める割合がより大きい。この結果は、表 7-3 で確認された、親からみた介護者の状況とも重なる。また、妻がもっとも介護しているのが「夫」である割合も 18.5%と 2 割近くを占めている。

2. 本文の記述に関わるもの

○結果の概要 p. 43 図 5-3 調査年別にみた妻と夫の間での主たる意思決定者の分布

正

誤

○結果の概要 p. 44 図 5-4 妻の年齢別にみた妻と夫の間での主たる意思決定者の分布
(2022 年調査)

正

誤

○結果の概要 p. 47 図 6-2 調査年別にみたそれぞれの親との同居割合

正

誤

○結果の概要 p. 48 表 6-1 妻の年齢別にみた親との同居割合（2022 年調査）

正

	4人の親のうち 誰かと同居		どちらかの 母親と同居		妻の父親 と同居		妻の母親 と同居		夫の父親 と同居		夫の母親 と同居	
	n	割合 (%)	n	割合 (%)	n	割合 (%)	n	割合 (%)	n	割合 (%)	n	割合 (%)
29歳以下	127	7.9	134	5.2	137	4.4	138	2.9	120	0.8	128	2.3
30～39歳	525	9.3	560	8.0	521	3.1	572	3.3	481	5.4	541	5.0
40～49歳	878	14.4	905	12.5	708	4.0	880	4.7	635	6.0	804	9.1
50～59歳	925	18.4	908	14.8	447	5.1	788	5.2	365	14.5	682	13.6
60～69歳	581	20.5	551	19.6	107	6.5	402	10.7	71	15.5	301	21.6

誤

	4人の親のうち 誰かと同居		どちらかの 母親と同居		妻の父親 と同居		妻の母親 と同居		夫の父親 と同居		夫の母親 と同居	
	n	割合 (%)	n	割合 (%)	n	割合 (%)	n	割合 (%)	n	割合 (%)	n	割合 (%)
29歳以下	127	7.9	134	5.2	137	3.6	138	2.9	121	1.7	128	2.3
30～39歳	525	9.3	560	8.0	521	3.1	572	3.3	481	5.4	541	5.0
40～49歳	878	14.4	905	12.5	708	4.0	880	4.7	635	6.0	804	9.1
50～59歳	925	18.4	908	14.8	446	4.9	787	5.1	366	14.8	683	13.8
60～69歳	581	20.5	551	19.6	107	6.5	402	10.7	71	15.5	301	21.6

○結果の概要 p. 56 表 7-1 調査年別にみた親の生存状況と介護の要否

正

	妻の父親				妻の母親				夫の父親				夫の母親			
	2008	2013	2018	2022	2008	2013	2018	2022	2008	2013	2018	2022	2008	2013	2018	2022
n	6,870	6,409	6,142	5,518	6,870	6,409	6,142	5,518	6,870	6,409	6,142	5,518	6,870	6,409	6,142	5,518
生存	41.3	39.7	37.4	36.3	59.2	57.9	54.7	54.0	34.3	33.9	32.4	32.0	51.5	51.0	48.3	47.8
介護不要	34.5	30.2	27.2	26.1	45.6	39.5	35.8	35.4	28.4	26.3	23.4	23.5	39.3	35.4	31.6	30.8
介護必要	5.3	7.4	6.8	6.8	11.2	15.4	14.2	13.7	4.1	5.2	5.0	4.8	9.6	11.7	11.2	11.2
介護不詳	1.6	2.1	3.5	3.4	2.5	3.1	4.7	4.8	1.8	2.3	3.9	3.7	2.6	3.9	5.6	5.8
死亡	45.5	50.6	51.2	55.6	28.5	33.5	35.2	38.5	47.1	51.3	51.2	57.2	31.2	36.0	36.6	41.9
不詳	13.2	9.7	11.4	8.1	12.2	8.6	10.1	7.5	18.6	14.9	16.4	10.7	17.3	13.0	15.0	10.3

誤

	妻の父親				妻の母親				夫の父親				夫の母親			
	2008	2013	2018	2022	2008	2013	2018	2022	2008	2013	2018	2022	2008	2013	2018	2022
n	6,870	6,409	6,142	5,518	6,870	6,409	6,142	5,518	6,870	6,409	6,142	5,518	6,870	6,409	6,142	5,518
生存	41.3	39.7	37.4	36.2	59.2	57.9	54.7	53.8	34.3	33.9	32.4	31.9	51.5	51.0	48.3	47.5
介護不要	34.5	30.2	27.2	26.1	45.6	39.5	35.8	35.4	28.4	26.3	23.4	23.4	39.3	35.4	31.6	30.6
介護必要	5.3	7.4	6.8	6.8	11.2	15.4	14.2	13.7	4.1	5.2	5.0	4.8	9.6	11.7	11.2	11.1
介護不詳	1.6	2.1	3.5	3.3	2.5	3.1	4.7	4.7	1.8	2.3	3.9	3.7	2.6	3.9	5.6	5.8
死亡	45.5	50.6	51.2	55.6	28.5	33.5	35.2	38.5	47.1	51.3	51.2	57.2	31.2	36.0	36.6	41.9
不詳	13.2	9.7	11.4	8.2	12.2	8.6	10.1	7.7	18.6	14.9	16.4	10.9	17.3	13.0	15.0	10.6

○結果の概要 p. 56 表 7-1 (参考) 回答者別にみた親の生存状況と介護の要否 (有配偶女性を除く、2022 年調査)

正

	離死別女性		単身未婚女性		単身男性	
	父親 2022年	母親 2022年	父親 2022年	母親 2022年	父親 2022年	母親 2022年
n	1,457	1,457	547	547	1,177	1,177
生存	15.2	29.3	58.3	66.2	37.9	48.1
介護不要	9.3	14.8	48.1	53.7	28.9	33.1
介護必要	4.5	11.1	4.4	7.5	4.3	9.9
介護不詳	1.4	3.4	5.9	4.9	4.7	5.1
死亡	76.5	63.2	34.7	29.1	55.5	44.7
不詳	8.3	7.5	6.9	4.8	6.6	7.2

誤

	離死別女性		単身未婚女性		単身男性	
	父親 2022年	母親 2022年	父親 2022年	母親 2022年	父親 2022年	母親 2022年
n	1,457	1,457	547	547	1,177	1,177
生存	15.1	29.2	58.3	66.2	37.9	48.1
介護不要	9.2	14.8	48.1	53.7	28.9	33.1
介護必要	4.5	11.0	4.4	7.5	4.3	9.9
介護不詳	1.4	3.4	5.9	4.9	4.7	5.1
死亡	76.5	63.2	34.7	29.1	55.5	44.7
不詳	8.4	7.6	6.9	4.8	6.6	7.2

○結果の概要 p. 58 表 7-2 妻の年齢別にみた介護の必要な親の人数（2022 年調査）

正

	n	介護の必要な親がいる妻の割合	(内訳) 介護の必要な親の人数			
			1人	2人	3人	4人
年齢計	5,518	24.1	16.5	5.6	1.4	0.5
29歳以下	150	6.7	4.7	0.0	0.0	2.0
30～39歳	651	11.5	6.6	2.9	0.8	1.2
40～49歳	1,070	25.6	17.4	6.1	1.4	0.7
50～59歳	1,179	42.5	26.1	12.0	3.6	0.7
60～69歳	1,217	33.4	25.6	6.5	1.2	0.2
70歳以上	1,251	5.0	4.6	0.4	0.0	0.0

誤

	n	介護の必要な親がいる妻の割合	(内訳) 介護の必要な親の人数			
			1人	2人	3人	4人
年齢計	5,518	24.0	16.4	5.6	1.4	0.5
29歳以下	150	6.7	4.7	0.0	0.0	2.0
30～39歳	651	11.4	6.5	2.9	0.8	1.2
40～49歳	1,070	25.6	17.4	6.1	1.4	0.7
50～59歳	1,179	42.2	25.9	12.0	3.6	0.7
60～69歳	1,217	33.4	25.6	6.5	1.2	0.2
70歳以上	1,251	4.9	4.5	0.4	0.0	0.0

○結果の概要 p. 58 表 7-2（参考） 回答者別にみた介護の必要な親の人数（有配偶女性を除く、2022 年調査）

正

	n	介護の必要な親がいる妻の割合	（内訳）介護の必要な親の人数	
			1人	2人
離死別女性	1,457	13.2	10.9	2.3
単身未婚女性	547	9.9	8.0	1.8
単身男性	1,177	12.6	9.6	2.9

誤

	n	介護の必要な親がいる妻の割合	（内訳）介護の必要な親の人数	
			1人	2人
離死別女性	1,457	13.1	10.8	2.3
単身未婚女性	547	9.9	8.0	1.8
単身男性	1,177	10.1	8.1	2.0

○結果の概要 p. 60 表 7-3 介護の必要な親のおもな介護者（2022 年調査）

正

	妻（有配偶女性）			
	妻の父親	妻の母親	夫の父親	夫の母親
n	280	573	205	485
妻	21.4	27.6	7.8	13.2
夫	5.4	2.6	12.7	16.3
妻(夫)の母親(父親)	33.2	6.6	33.2	6.0
妻(夫)のきょうだい	15.4	31.2	19.5	22.5
妻(夫)のきょうだいの配偶者	2.1	3.5	1.0	1.6
その他の親族	1.1	0.5	3.9	1.4
親族以外	3.9	4.7	3.9	6.2
施設・病院に入所・入院中	17.5	23.2	18.0	32.8

誤

	妻（有配偶女性）			
	妻の父親	妻の母親	夫の父親	夫の母親
n	282	587	211	495
妻	20.9	27.1	7.1	12.3
夫	5.7	2.7	12.8	16.0
妻(夫)の母親(父親)	33.3	6.5	32.2	5.9
妻(夫)のきょうだい	15.6	30.8	19.9	23.0
妻(夫)のきょうだいの配偶者	2.1	3.6	0.9	1.6
その他の親族	1.1	0.7	3.8	1.4
親族以外	3.9	4.6	3.8	6.1
施設・病院に入所・入院中	17.4	24.0	19.4	33.7

○結果の概要 p. 62 表 7-4 妻の年齢別にみた家族介護の経験（2022 年調査）

正

年齢	n	介護経験あり	介護経験あり		経験なし
			現在介護している	以前介護していた	
年齢計	4,524	35.5	9.7	25.8	64.5
29歳以下	129	6.2	3.9	2.3	93.8
30～39歳	558	10.4	3.2	7.2	89.6
40～49歳	927	18.5	4.9	13.6	81.6
50～59歳	984	36.8	13.9	22.9	63.2
60～69歳	1,006	54.1	15.3	38.8	45.9
70歳以上	920	50.2	8.5	41.7	49.8

誤

年齢	n	介護経験あり	介護経験あり		経験なし
			現在介護している	以前介護していた	
年齢計	4,524	35.4	9.9	25.5	64.5
29歳以下	129	6.2	3.9	2.3	93.8
30～39歳	558	10.4	3.2	7.2	89.6
40～49歳	927	18.5	5.1	13.4	81.6
50～59歳	984	36.8	14.4	22.4	63.2
60～69歳	1,006	54.1	15.5	38.6	45.9
70歳以上	920	50.2	8.9	41.3	49.8

○結果の概要 p. 62 表 7-4 (参考) 回答者別にみた家族介護の経験 (有配偶女性を除く、2022 年調査)

正

	n	介護経験あり	介護経験あり		経験なし
			現在介護している	以前介護していた	
離死別女性	1,250	47.0	6.6	40.4	53.0
単身未婚女性	514	20.4	2.3	18.1	79.6
単身男性	1,032	21.8	2.8	19.0	78.2

誤

	n	介護経験あり	介護経験あり		経験なし
			現在介護している	以前介護していた	
離死別女性	1,250	47.0	7.1	39.9	53.0
単身未婚女性	514	20.4	2.5	17.9	79.6
単身男性	1,032	21.8	2.9	18.9	78.2

○結果の概要 p. 63 図 7-1 妻の年齢別にみた介護へのかかわり方（2022 年調査）

正

誤

○結果の概要 p. 64 図 7-2 現在もっとも介護している家族の続柄（2022 年調査）

正

誤

3.「結果の概要」に掲載されたデータ（Excel ファイル、少数点第 2 以下で修正が生じたケースを含む）

○図 5-3 調査年別にみた妻と夫の間での主たる意思決定者の分布
正

誤

図 6-1 調査年別にみた 4 人の親のうち誰かとの同居割合とどちらかの母親との同居割合

正

誤

○図 6-2 調査年別にみたそれぞれの親との同居割合

正

誤

○表 6-1 妻の年齢別にみた親との同居割合（2022 年調査）

正

誤

○図 7-1 妻の年齢別にみた介護へのかかわり方 (2022 年)

正

誤

○図 7-2 現在もっとも介護している家族の続柄（2022 年調査）

正

誤

○表 7-1 調査年別にみた親の生存状況と介護の要否

正

誤

○表 7-1（参考） 回答者別にみた親の生存状況と介護の要否（有配偶女性を除く、2022年調査）

正

誤

○表 7-3 介護が必要な親のおもな介護者（2022 年調査）

正

誤

○表 7-4 親の年齢別にみた家族介護者の経験（2022 年調査）

正

誤

○表 7-4（参考） 回答者別にみた家族介護の経験（有配偶女性を除く、2022 年調査）

正

誤
